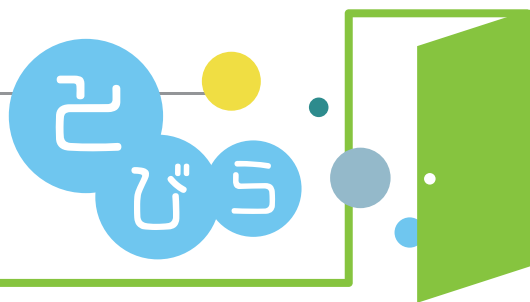




柏崎市議会だより

ギカイの



No.191 令和5(2023)年2月5日

今回の表紙

活発な意見を交わす市民の皆さん

テーマごとのグループで意見交換しました。
(場所 市内コミセン)

もくじ

■ 特集《意見交換会》	P2・3
■ こんなことが決まりました	P4
■ 討論(要旨)	P5
■ 常任委員会審査報告	P6・7
■ 先進地を視察しました	P8～10
■ 一般質問、賛否一覧	P11～15
■ 会派で政務活動を行いました	P16・17
■ ギカイのうごき	P18・19
■ 2月定例会議日程 ほか	P20



特集

《意見交換会》

〈3年ぶりに、11中学校区で開催しました〉

今年度2回目の意見交換会に 144人が参加



テーマ1 私たちの地域は大丈夫か ～市民の安全とまちづくり～

総務常任委員会

■ 地域活動の担い手に関する意見

- 地域活動の担い手の確保が困難になっている。
- 地域と行政で市民参加のやり方を見直す必要がある。

■ 委員会から市への報告

- 人口減少と高齢化によるさらなる担い手不足により、地域活動の停滞が危惧される。
- 役割分担の見直し、業務の可視化、デジタル技術の活用などで担い手不足を補う取り組みを求める。

テーマ2 一緒に考える地域の子どものこと ～安心して子育てできる環境～

文教厚生常任委員会

■ 遊び場に関する意見

- 雨天時・冬季に子どもが遊べる屋内施設が欲しい。
- 子どもだけでなく親同士が交流できる場としての施設が欲しい。

■ 委員会から市への報告

- 子どもの遊び場に関する支援策の検証、地域資源や既存施設を生かした遊びの推奨を検討していただきたい。

■ 学校統廃合に関する意見

- 改めて地域のあり方を考え直す機会となった。
- これからは住民の声を十分に聞いて進めてほしい。

■ 委員会から市への報告

- 統廃合は地元にとって非常にデリケートな問題である。今後も地元の意見を聞きながら慎重に調査研究し、説得でなく納得を得ながら進めるべきである。

テーマ3 産業振興について ～地域の未来を考えてみませんか～

産業建設常任委員会

■ 事業の担い手に関する意見

- 後継者がいるところもあるが、地区や市全体でPRすべきである。
- 2大学との連携を強化し、若い人材を生かすべき。

■ 委員会から市への報告

- 情報共有の場を設け、後継者不足に対する協力体制づくりをサポートしていただきたい。
- 市内学卒者の採用や情報産業に特化させたU・Iターン支援など、雇用に結びつく人材確保戦略に取り組んでいただきたい。

11月17・18・21・22日の4日間に、11会場で3つのテーマについて意見交換しました。いただいた意見を市の担当部局と共有し、対応を求めました。



意見交換会



Aチーム3班 (半田コミセン)



Bチーム2班 (中央地区コミセン)



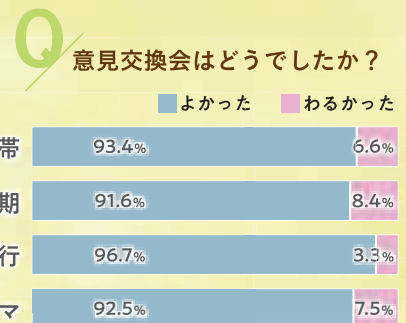
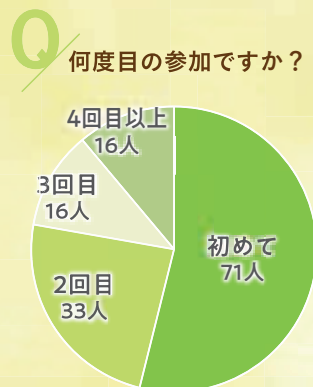
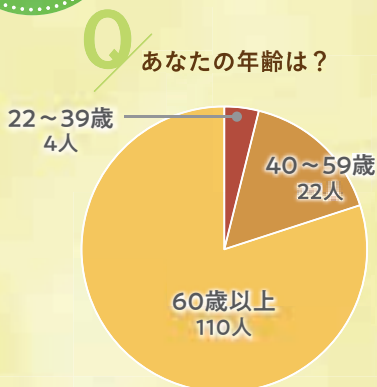
Cチーム1班 (米山コミセン)



Dチーム3班 (田尻コミセン)



参加者136人 (参加者の約94%) から回答をいただきました。



Q 意見交換会で取り上げてほしいテーマは？
「公共交通」「子どもの教育、学校統合」「農地荒廃」「空き家」「今回のテーマの掘り下げ」…など

多数のご意見をいただき、ありがとうございました。

こんなことが 決まりました

10月随時会議・11月随時会議・12月定例会議 議案審議

Pick up

1

佐藤池に資源物リサイクルステーションが開設されました

- ◎ごみ減量化・リサイクル対策費 113万2000円
- ◎資源物リサイクルセンター管理費 354万6000円

〔11月随時会議／令和4（2022）年度一般会計補正予算〕

12月13日に佐藤池資源物リサイクルステーションが開設されました。令和6（2024）年度末までを期限として、佐藤池サッカーコートクラブハウスの一部を使用します。回収品目を絞った上で資源物リサイクル拠点に対する市民ニーズを把握し、将来の拠点について検討することを目的としています。

Pick up

2

妊娠・出産で最大10万円の現金給付事業が始まりました

- ◎出産・子育て応援交付金事業 5024万円

〔12月定例会議／令和4（2022）年度一般会計補正予算〕

国の第2次補正予算に伴い、安心して出産・子育てができるようにすることを目的に、妊娠から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援の充実が図られるとともに、令和5（2023）年1月から現金給付事業が始まりました。

令和4（2022）年4月1日以降に妊娠届出または出生届出した方は、それぞれ5万円を受け取ることができます。事業開始前に届出した方には、申請の案内が郵送されます。事業開始後は、妊娠届出と新生児訪問で面談したときに申請できます。



議決した議案





録画映像

私たちはこのような理由で

賛成しました



反対しました

ごみ対策事業(佐藤池サッカーコートクラブハウスの一部を活用した新たな資源物リサイクルステーションの開設と運営に必要な経費)を盛り込んだ一般会計補正予算(第12号)が、11月随時会議(11月17日)において原案どおり可決されました。当該事業については、当初9月定例会議に一般会計補正予算(第10号)として提案されましたが、予算決算常任委員会の審査において十分な答弁が得られなかったため、当該予算を削除し修正可決されました。その後、10月随時会議(10月31日)に一般会計補正予算(第12号)として改めて提案され、10月31日および11月16日に予算決算常任委員会で審査が行われました。議決にあたり、5人の議員が討論を行いました。

賛成

阿部 基

新たな資源物リサイクルステーションの必要性は理解するが、委員会審査における説明や資料の提出などに課題があり、原因を踏まえ、市民・議会に対して丁寧に説明責任を果たすよう願う。

賛成

持田繁義

担当部課が説明責任を果たしていない事態。なぜ、佐藤池なのか、他の目的に使っている施設を一時的・臨時的に使用し、基礎データと市民の意向調査を行うことに根拠を持たせなければならない。

賛成

重野正毅

以下を付して賛成討論とする。①教育財産施設の目的外使用についての課題改善 ②コンテナハウス設置場所の変更 ③当局の説明、資料の示し方、答弁の不明確さの改善

賛成

若井恵子

本事業の緊急性ならびに全体計画の方向性、一般質問での市長答弁との整合性など明確な答弁・説明が示されなかったが、ごみの減量やリサイクルを推進していくには必要な施設と判断し賛成する。

賛成

飯塚寿之

リサイクルセンターの整備目標に向け、本議案は段階を踏んだ取り組みと理解し、妥当と判断する。議案提出に至る過程で部・課の垣根を越えたチェック、議論が必要ではないか。改善を求める。

令和4(2022)年12月定例会議常任委員会での審査について 報告します

総務常任委員会

■委員長 阿部 基 ■副委員長 布施 学
■委員 星野幸彦・三宮直人・飯塚寿之・佐藤和典・若井恵子・星野正仁

4件の議案を審査しました。

- ・公の施設の指定管理者の指定について（かしわざき市民活動センター）

議案の概要

かしわざき市民活動センター「まちから」の令和5（2023）年4月から5年間の指定管理者の指定。

主な質疑

- Q これまでの指定期間の評価は。
- A コロナ禍の影響で利用者数に大きな伸びはないものの、市民活動団体への指導や相談

に対応してきたと認識している。

- Q 地域の課題を解決するために、問題意識を指定管理者と共有しているか。

- A これまで、元気なまちづくり事業補助金を100以上の市民活動団体に交付してきた。地域の力を高めるために、今後は、これらの団体とのつながりを生かしていきたい。また、事業者の自主事業に加えて、クラウドファンディングなどを通じて、事業者の財源的な自立を促していきたい。

文教厚生常任委員会

■委員長 重野正毅 ■副委員長 白川正志
■委員 笠原晴彦・近藤由香里・樋口良子・荒城彦一・上森 茜・春川敏浩

4件の議案（請願3件を含む。）を審査しました。

- ・マスク着用・非着用による差別や誹謗中傷をなくす取組に関する請願

請願の概要

マスクに関する差別や誹謗中傷を無くすための取り組みを求めるもの。

主な討論

- 賛成■
 - ・請願者の真意を議会が受け止め、生かす方向で検討することが議会の対応の仕方である。

■反対■

- ・学校の実態や今後の対応を聞いて、マスクだけではなく多様な場面で誹謗中傷が起こらないような学校での指導および厚生労働省のチラシによる保護者への周知を行っている。
- ・マスクを着けなくていい時のことも周知している。
- ・現在、請願者が望む方向に進んでいる。しかし、請願者が望む早急な対応は取れない。

産業建設常任委員会

■委員長 山本博文 ■副委員長 田邊優香
■委員 村田幸多朗・秋間一英・持田繁義・佐藤正典・相澤宗一・柄沢 均

9件の議案を審査しました。

- ・公の施設の指定管理者の指定について（西山ふるさと公苑）

議案の概要

西山ふるさと公苑の令和5（2023）年4月から5年間の指定管理者の指定。

主な質疑

- Q 指定期間を3年間から5年間に変更する理由は。
- A 将来的に西山ふるさと公苑、西山自然体験交流施設（ゆうぎ）、大崎温泉雪割草の湯の一体管理を検討するため、3施設の指定期間を合わせたい。



委員会の録画映像は **YouTube** で
見ることができます



審査結果

予算決算常任委員会

■委員長 星野 正仁 ■副委員長 持田 繁義

※分科会長・副分科会長・委員は、各常任委員会の委員長・副委員長・委員と同じ。

令和4(2022)年度一般会計補正予算(第15号)など、8件の議案について審査しました。

総務分科会

令和4(2022)年度一般会計補正予算(第15号)

●職員採用・職員管理経費(314万1000円)

事業の概要

障がい者の法定雇用率向上のため、令和5(2023)年1月から障がい者4人を会計年度任用職員として雇用するとともに、勤務中にサポートを行うための経費。

主な質疑

- Q 雇用と経費の内容は。
- A 新たに短期の非常勤職員として雇用する。報酬などのほか、ジョブコーチを外部委託で導入するための経費を計上した。これまで、市役所の業務の切り出しを行い、ハローワークや就労支援施設と協議を行ってきた。

文教厚生分科会

令和4(2022)年度一般会計補正予算(第15号)

●自立支援給付費(4265万3000円)

補正の概要

介護給付費は重度訪問介護のサービス利用時間の増加、訓練等給付費は就労に向けた障害福祉サービス利用者の増加などに伴う増額。

主な質疑

- Q 介護給付費について、重度訪問介護のサービス利用状況は。
- A 月平均のサービス利用時間が前年度の2.8倍に増加した。
- Q 訓練等給付費について、就労支援の現状などは。
- A サービス利用者の5割くらいが就労しており、障がい者の経済的自立に寄与している。

産業建設分科会

令和4(2022)年度一般会計補正予算(第15号)

●障がい者活躍推進事業(41万円)

補正の概要

障がい者トライアル雇用助成金の申請増加に伴う増額。

主な質疑

- Q 増額する理由は。
- A 申請が4社増え、12社になる予定のため。

●制度融資利子補給金補助金(200万円)

補正の概要

県の新型コロナウイルス感染症対策特別融資の期間延長に伴う増額。

主な質疑

- Q 制度融資の件数と今後の対応は。
- A 昨年度51件、今年度は現段階で73件。関係機関と意見交換し、今後の対応を検討したい。

先進地を 視察しました



議会運営委員会・予算決算常任委員会(合同)

8月3日(水)～5日(金)



学んできたこと

- 行政評価、事業評価
- 議会改革の取り組み

ここに注目！

東京都町田市

課別・事業別行政評価は、事業のフルコストを見える化することで事業の成果を明らかにし、市民への説明責任を果たしている。本市としても検討する必要がある。

また、議案のカルテや高校生との意見交換会の取り組みについて学んだ。

神奈川県茅ヶ崎市

平成22(2010)年から先進的に行っている「決算審査における事業評価」について、評価の手法や評価結果が新年度予算編成にどのように反映されているのかを伺うとともに、政策討議をはじめとする議会改革の取り組みを学んだ。

東京都墨田区

行政評価について「事業カルテ」方式を導入し、課題の洗い出しと人的コストに反映する仕組みの構築を学んだ。また、外部評価は、委員会方式から、インターネットで区民の意見を募集する方式に変更したと伺った。

議会基本条例の運用に係る検討の取り組みは大変重要であると認識した。

東京都豊島区

議会改革検討会をはじめとする議会改革度ランキング上位の豊島区議会の先進的な取り組みについて伺った。

また、障がい者に配慮した議会体制として、本会議において手話通訳の導入や点字による請願・陳情の受理などを行っている。これらの取り組みを本議会としても参考にしたい。



議会運営委員会の活動

常任委員会の活動





文教厚生常任委員会

8月8日(月)～10日(水)



学んできたこと

- ヤングケアラー支援
- 子どもの貧困対策
- いじめ・不登校対策

常任委員会の活動



ここに注目!



埼玉県入間市

ヤングケアラー支援の現状、実態調査、周知・啓発、相談支援体制の整備、条例制定、今後の取り組みと課題の説明を受けた。条例制定が社会的気運の醸成に有効だと学んだ。

埼玉県富士見市

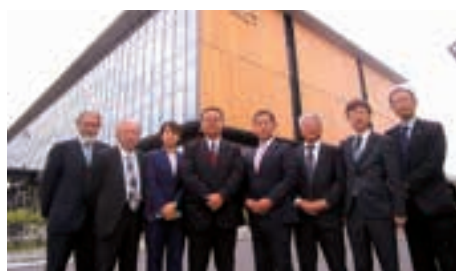
子どもの貧困対策の全体像、「夢つなぐ富士見プロジェクト+ (プラス)」、「気づき・つなぐマニュアル」、「子どもの夢つなぐ市民運動☆ふじみ」に関して説明を受け、地域全体で支える体制づくりの必要性を学んだ。

長野県須坂市

学校問題解決支援チームの活動、不登校児童・生徒の学習および家族への支援など、いじめ・不登校対策に関する説明を受け、特に未然防止と初動対応の重点化が参考となった。

産業建設常任委員会

10月11日(火)～13日(木)



学んできたこと

- 産業振興の取り組み

常任委員会の活動



ここに注目!



東京都港区

港区立産業振興センターは産業振興の拠点として最新の情報と技術の提供を行っている。地域ニーズを把握した取り組みは参考となった。

福島県会津若松市

スマートシティA i C T内に首都圏から情報関連の一流企業37社が入居し、企業同士や大学との連携が行われていた。約200人の移住定住の成果も見られた。多様な企業が集まり、連携できる仕組みを学んだ。

茨城県日立市

H I T S日立地区産業支援センターは地域産業の拠点であり、人材確保・育成に力を入れている。29項目の研修会、セミナー、講習会の実施のほか、人材不足解消のため外国人材の採用の取り組みは学ぶべき点が多かった。



総務常任委員会

■ 10月17日(月)～19日(水)



学んできたこと

- 男女共同参画のための市民への啓発活動・参画意識の向上
- 移住・定住促進プログラム

常任委員会の活動



ここに注目!



長野県東御市

男女共同参画の推進に特化した懇談会を行うなど、意識づくりに努めていた。子育て支援の中に「男女共同参画社会の啓発事業」を入れ込んでいる点も大いに参考になった。

長野県伊那市

教育移住に向けた小規模学校への取り組みや移住希望者への準備住宅、短期・中期移住体験施設および空き家バンクの取り組みなどを学んだ。移住するための住まい支援は重要であり、興味深い点であった。

長野県茅野市

子どもの頃から家庭や日常生活などさまざまな場面において男女共同参画を意識することを目指し、アンケート調査を毎年行っていることや、ロゴマークを作成し親しみを持てるように取り組んでいる点など、参考になった。

議会広報広聴常任委員会

■ 11月1日(火)～2日(水)



学んできたこと

- 大学生や高校生との意見交換会、中学生への出前授業
- 意見交換会の運営と意見の取り扱い、広報議会モニター制

広報広聴常任委員会の活動



ここに注目!



栃木県足利市

若者や女性の参加を促すために、大学生との「まちづくり討論会」、高校生との「議会報告会・意見交換会」、さらに次世代を担う中学生から議会に関心を持ってもらうために「出前講座」などを精力的に実施していた。柏崎市においても若者や女性の参加は課題であり参考にしていきたい。

福島県会津若松市

意見交換会で得た意見を起点とした政策形成サイクルが出来上がっていた。意見の聴取(起点)→重要性の分析→政策づくり→政策の意思決定の各段階で意見交換会を繰り返し、市民とともに政策づくりが行われていた。広報紙の充実と議会への関心を高めてもらうことを目的に「広報議会モニター制」を実施していた。学ぶべき点が多く価値ある視察となった。



一般質問とは

皆さんの暮らしに関わる大切なことについて、議員が市に対して質問する場です。
あなたはどんなことに興味がありますか？

質問者と質問項目



D X 推進



Q デジタル地域通貨構想の検討状況と今後の見通しは

A 国の補助事業を活用し、令和5年度中のデジタル地域通貨導入を目指したい

質問 柏崎市DX推進計画では、デジタル地域通貨プラットフォーム導入により、子育て応援券やプレミアム商品券を電子化する予定だが、検討状況および今後の見通しは。

回答 国の補助事業を活用し、令和5年度中に柏崎市に最適なデジタル地域通貨プラットフォーム導入を図り、子育て応援券やプレミアム商品券などの電子化を目指したい。

他の質問 「脱炭素のまち・柏崎市」実現に向けた戦略と取り組み ほか



動画でチェック

政治姿勢



Q 市民との危機感の共有は説得ではなく納得を求めるべき

A 今後もスピード感を持ち事実を繰り返し繰り返し正直に市民に伝えていきたい

質問 市長の言う「柏崎はもう瀬戸際である」との危機感を、市民自身はまだ受け止めきれていないと私は考える。市民との危機感の共有は説得ではなく納得を求めるべき。

回答 柏崎市が抱える課題はスピード感を持って対応しなければ手遅れになる。今後も市民に対して、市が置かれている状況を繰り返し繰り返し正直に伝えていきたい。

他の質問 少子化に伴う人材育成への課題 ほか



動画でチェック

観光



Q 道の駅「風の丘米山」の再整備についての進捗状況

A 現在必要な諸条件を協議している段階で、今年度内には全体像を示したい

質問 道の駅「風の丘米山」の再整備について現在の進捗状況と今後の再整備に向けたロードマップを伺う。

回答 柏崎市としては令和4年6月に民間事業者と基本協定の締結を行い、基本設計に向けて必要な諸条件を協議している。現状ではロードマップを示せる段階にないが、今年度内に全体像を示したい。

他の質問 自転車保険義務化の対応



動画でチェック

障害者支援



重野正毅

Q ろう者が社会参加時に困難と感じていることへの対応

A 投票所入口に案内表示を新たに設置、長岡聾学校を通じて補助制度などを周知

質問 ろう者が社会参加する際に困難と感じていることへの対応について伺う。

回答 全ての投票所入口に「困りごとがあれば気軽に知らせてください」などの表示を設置する。長岡聾学校卒業時に、市内在住の生徒保護者に支援制度などを周知する。障害者手帳がない難聴者に対して補聴器購入助成制度を検討している。

他の質問 保育園などの通園バス

ほか



動画でチェック

移住・定住



春川敏浩

Q 地域おこし協力隊の退任後の定住に結びつかない要因

A 支援しているが定住は少ない。制度の充実を図り、定住につなげたい

質問 隊員の定住になぜ結びつかないのか。地域とつながり、成果を上げた隊員が去るのは忍びない。地域に変化はあるのか。

回答 受け入れ地域は活性化し、成果が表れている。各種支援制度を伝えているが、退任後は地域を離れる隊員が多い。退任後の地域はポッカリ穴の開いた感じとも思う。支援を充実し、定住につながるよう努力する。

他の質問 人口減少対策への取り組み、鉄道の現状と地方鉄道の利便性



動画でチェック

地域共生



相澤宗一

Q 東京電力HDの社風、社員の努力についての評価

A 地域活動に率先して参加する姿を目の当たりにし、変わりつつあると実感

質問 東京電力HDは改善活動の途中であるが、私たち働く者の立場から見ても社風改善がなされてきていると思う。市長はどのように評価しているか伺う。

回答 規制庁による検査中に予断を与える発言は控えるが、清掃など社員一人一人の活動が市民に影響しているのは事実。この姿勢を継続することが何よりも大切と考える。

他の質問 2035脱炭素社会の実現に向けた挑戦

ほか



動画でチェック

幼児教育



白川正志

Q 幼児期の非認知能力・非認知スキル向上への取り組みは

A 年齢に応じた内容のプログラムにより非認知能力を育てる保育を実施している

質問 市内の保育士や幼稚園の先生向けに実施されている非認知能力に関する研修などをYouTubeなどで市民に公開できないか。

回答 情動をコントロールする力など、非認知能力が育まれるよう、年齢に応じて段階的に保育を行っている。保護者や地域への発信が非常に大切である。ウェブ発信などの計画はないが、今後のために研究したい。

他の質問 GXを貫く価値づくりに向けた官民共創のまちづくり



動画でチェック

まちづくり



飯塚 寿之

Q 市民参加のまちづくり基本条例を再確認すべき

A 条例を久しぶりに読んだ。再確認した

質問 市民のまちづくりへの意欲を奪ってほならない。地域の作り直しにおいては市民が主体。原案づくりに市民がいるべき。政策決定には適切な手法を選択すべき。

回答 久しぶりに市民参加のまちづくり基本条例を再確認した。本条例はプルサーマル、国のエネルギー政策の住民投票の課題が背景にあることをまずはご理解いただきたい。

他の質問 学校教育の課題



動画でチェック

子育て支援



田邊 優香

Q 制服や学用品のリユースに関する市の考え方

A 適切な情報発信に努め、可能な限りリユースの取り組みを支援していきたい

質問 経済的負担の軽減やSDGsの観点から、入学・進学にあたり、不用になった制服や学用品のリユースを進める考えは。

回答 SDGsの機運が高まる中、制服や学用品のリユースは意味のあることと受け止めている。PTAなどと連携しリユースに取り組めるように適切な情報発信に努め、可能な限り支援していきたい。

他の質問 子育て支援の今後の取り組み



動画でチェック

農業



笠原 晴彦

Q 消費者と生産者が喜び合える、持続可能な農業のために

A 米山プリンセスを旗艦米として消費につなげる。農地は集約化を進めていく

質問 米山プリンセスの販売開始から4年が経過したが、米農家の下支えとなっているか。重要な食糧の生産農家が、意欲をなくさずに生産を続けることができるか。

回答 米山プリンセスは非常に評判が良く、他品種も認知されてきた。来年度から地域計画の策定に取り組み、農地利用の明確化と集約を進めて次世代に引き継いでいく。

他の質問 福祉法人の経営支援の強化と課題解決



動画でチェック

行政事務



柄沢 均

Q 事務処理ミス削減に向けた今後の取り組みを伺う

A 年度末にカテゴリーごとに改めて公表し、事務処理ミスの件数ゼロを目指す

質問 事務処理ミスの公表により市民の関心も高まり、評価と共になくなることのないミスへの疑問も出てきている。事務処理ミス削減に向けて今後の取り組みを伺う。

回答 ミスの起こりやすい年度当初に研修を行っている。年度末にカテゴリーごとに改めて公表したい。事務処理ミスの件数ゼロを目指し全職員に公務の重みを認識させる。

他の質問 所得向上の環境づくり、柏崎市の成長のための投資と改革



動画でチェック

元朝体操



秘間一英

Q 元朝体操のギネス記録登録へ

A 現在その考えはない

質問 昭和7（1932）年から続いている元朝体操は他市他県に例を見ない柏崎特有の行事である。ギネス記録登録を申請してはどうか。波及効果は期待できると考える。

回答 元朝体操は約2,000人が参加する恒例行事であり、これからも大切に続けていきたい行事だが、ギネスブックへの申請などは考えていない。

他の質問 防災と河川管理



動画でチェック

綾子舞



星野正仁

Q ユネスコ登録後の取り組みをどのように考えているのか

A 世界の宝となったこの機を生かし綾子舞の魅力発信と補助支援を行う

質問 綾子舞を含む「風流踊（ふりゅうおどり）」がユネスコ無形文化遺産に登録された。今後の市民啓発や市外アピールの考え、活動への支援策の考えについて伺う。

回答 ユネスコ登録を機に、老朽化した仮設舞台や衣装の新調、その他必要な備品の補助を行う。世界の宝となった綾子舞を広く知ってもらえるように魅力を発信していく。

他の質問 夢の森公園の評価と今後の取り組み ほか



動画でチェック

原発



星野幸彦

Q 原発の稼働標準期間60年への延長は妥当なのか

A 原発の運転期間ルールは国が根拠を示してほしい

質問 市長は原発の稼働標準期間を40年から60年に延長するGX実行会議の方針を「妥当」とコメントした。決して妥当とは考えられないがどうか。

回答 「方向性の検討を行うことは妥当」という考えである。原発の運転期間ルールは、政策的妥当性と技術的合理性を持った根拠を国が示してほしい。

他の質問



動画でチェック

子育て支援



上森 茜

Q 出生率向上に向けて

A さらに子育て支援を強化していく

質問 近年の子育て支援施策は充実してきている。市は令和4年3月改訂の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略において、令和6年までに合計特殊出生率1.51、出生数430人を目指すとしているが、具体的な施策は。

回答 出産費用の負担軽減、多子世帯の保育料の軽減、男性の育休の支援などを含め新年度予算に向けて検討している。

他の質問 柏崎潮風温泉の今後の可能性 ほか



動画でチェック

老人福祉



待田 繁義

Q 補聴器購入に対する補助制度の創設を求める

A 新年度から助成制度を検討している。県内の先行事例を参考に制度設計をする

質問 加齢性難聴は日常生活を不便にし、うつ病や認知症の危険因子にもなる。補聴器購入に対する補助制度の創設を求める。

回答 補聴器はコミュニケーションが円滑に取れ、社会参画支援や介護予防にもつながる。市でも遅ればせながら、新年度に向けて他市町村などの先行事例を参考に実施を検討している。

他の質問 中小企業・小規模事業者のコロナ対策融資に関わる対策 ほか



動画でチェック

人口減少



布施 学

Q 人口減少下における地域力の低下への対応は

A 地域に現実を伝え、共有しながら地域づくりを応援していく

質問 人口減少は地域コミュニティ機能に与える影響が大きいと思われるが、施策の展開に対する市長の考えは。

回答 人口減少や高齢化は地域活動に大きな影響を及ぼしている。町内会の統廃合などの現実を地域に伝え、共有しながら地域づくりを応援していく。

他の質問 酪農や畜産の現状



動画でチェック

私たちは



賛成 × 反対 しました

議員の賛否状況



議員賛否一覧（10月随時会議・11月随時会議・12月定例会議の採決において賛否が分かれた議案など）

議決日	議案	布施学	村田幸多朗	笠原晴彦	秋間一英	星野幸彦	重野正毅	三宮直人	近藤由香里	田邊優香	白川正志	山本博文	持田繁義	樋口良子	佐藤正典	飯塚寿之	荒城彦一	相澤宗一	佐藤和典	若井恵子	柄沢均	上森茜	春川敏浩	星野正仁	阿部基	真貝維義	
12月22日	物価上昇に見合う高齢基礎年金等の改善を求める意見書(案)	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-
12月22日	マスク着用・非着用による差別や誹謗中傷をなくす取組に関する請願	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-
12月22日	子どもの黙食緩和を求める請願	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-

○は賛成 ×は反対 欠は欠席 真貝維義議長は採決に加わりません。

会派で政務活動を行いました



日本共産党柏崎市議員団

7月29日(金)



活動内容

- 三條市視察（小中一貫校における教育現場の現状、地場産業技術の内外に向けたアピール）

会派の政務活動



三條市の地場産業の状況

マルナオ株式会社（硬木による箸などの製造）、株式会社諏訪田製作所（Gデザイン賞の爪切りなど）、株式会社タダフサ（多種多様な包丁製品）の3事業所を見学した。3事業所とも、作業現場を直接見学できるオープンファクトリーとなっており、職人の技術の高さを直に感じる事ができた。説明して下さった方は、清潔感あふれた若い年代の方で、説明も分かりやすかった。職場の環境も大変きれいに清掃されており、若い女性の職人も多いとのこと。このような労働環境下で生き生きと製品作りに取り組みれていた。それぞれの会社が、このような環境づくりに力を入れているからこそ、素晴らしい製品が作り出されているのだと大いに学んできた。この点は、柏崎市内の企業でも大いに学び、取り入れてほしいと感じた視察であった。

柏崎の風

11月24日(木)～25日(金)



活動内容

- 東松島ファーム視察（廃校後の校舎を植物工場として利活用）
- 東北電力女川原子力発電所視察

会派の政務活動



廃校後の校舎利活用

旧小学校の校舎および体育館を活用した東松島ファームは宮城県内最大の完全人工光型、無人化植物工場であり、そのショールームの役割と研究開発施設でもある。東松島市立浜市小学校は東日本大震災時に津波の被害を受けたものの避難所として使用されるなど、長年にわたり地域の中核施設として親しまれてきたことから、地元からは解体せずに保存活用して欲しいとの声が上がっていた。2015年に民間による施設の利活用・改修計画を東松島市が公募し、事業採択され設立された現地法人が東松島ファームであり、行政の思い、関わりが強いと受け止めた。農業はもとより、廃校利用は柏崎市でも大きな課題である。行政が主となり、地域とともに前進しなければならないと再確認できた。

公明党

■ 11月25日(金)



活動内容

- 東北電力女川原子力発電所視察

東北電力女川原子力発電所の安全への取り組み

東北電力女川原子力発電所PRセンターにおいて福島第一原子力発電所の事故を契機に制定された新規規制基準に対する当発電所の安全性向上に向けた取り組みについて説明を受けたのち、構内に入り工事の視察を行った。東日本大震災で震源地に一番近い原子力発電所であったが、「地震への備え」「津波への備え」「電源と水の備え」そして「日々の訓練」が機能し、安全に停止をした。現在は「深層防護」「多様化・多重化の備え」を基本的な考えとして必要な安全機能を設備面・運用面の両方から強化し、新規規制基準適合に満足することなく自主的、継続的な安全性向上に取り組んでいるところから、原子力を安全に動かすための会社の安全最優先の精神が生きていると感じた。

会派の政務活動



第13回全国原子力発電所立地議会サミットを開催

【2050年カーボンニュートラルと原子力～立地地域が目指すこれからの方向性～】

全国原子力発電所立地市町村議会議長会（会長＝真貝維義柏崎市議会議長）が主催する第13回全国原子力発電所立地議会サミットが、10月27日～28日に東京・品川プリンスホテルで開催されました。柏崎市議会議員25人を含めた原子力発電所や関連施設が立地する全国24議会の議員をはじめ、関係省庁、電力関係者など約400人が参加しました。

1日目に基調講演と分科会での意見交換を行い、2日目にサミット宣言を採択しました。

【基調講演】

「カーボンニュートラルと原子力政策」

村上朋子氏（日本エネルギー経済研究所 原子力グループ研究主幹）

【分科会】

第1分科会「脱炭素社会における立地地域の在り方」、第2分科会「脱炭素社会における原子力の在り方」、第3分科会「原子力防災体制と避難計画」、第4分科会「核燃料サイクルと使用済核燃料の中間貯蔵・最終処分」、第5分科会「原子力安全対策と原子力規制」



全国原子力発電所
立地市町村議会議長会

ギカイのうごき

CHECK!

1

常任委員会が政策提言

～ 12月定例会議で調査研究結果を報告しました～

調査研究



柏崎市議会では初めての取り組みとして、令和3（2021）年の秋からテーマに沿った調査研究を行ってきました。このたび、調査研究結果を政策提言書として取りまとめ、12月22日の本会議において報告・決定しました。後日、政策提言書を市長に手渡しました。



阿部総務常任委員長



重野文教厚生常任委員長



山本産業建設常任委員長

提言

● 総務常任委員会「男女共同参画」

- 1 誰もが暮らしやすい柏崎を目指して、家庭と地域における男女共同参画の必要性を周知すること
- 2 働きやすい柏崎を目指して仕事と育児・介護の両立を推進すること
- 3 ハッピー・パートナー事業を推進すること

● 文教厚生常任委員会「子どもを取り巻く環境の充実」

- 1 組織体制の強化により、見えない貧困、見えにくい貧困家庭への支援を拡充すること
- 2 親の妊娠・出産から子どもの社会的自立までの切れ目のない支援を強化すること
- 3 貧困の連鎖を断ち切るための教育支援、生活の安定に資する経済的支援を強化・充実させること
- 4 官民連携による支援組織体制を強化すること
- 5 いじめ対策：「柏崎市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめのない学校環境の整備をさらに推進すること
- 6 不登校対策：教育機会確保法を踏まえた対応による不登校児童・生徒を生まない学校づくりをさらに推進すること

● 産業建設常任委員会「産業振興と人材育成」

- 1 果敢に挑戦する企業への支援強化に向けて人材確保、育成へ取り組むこと
- 2 柏崎市の情報関連産業の振興について、DXへの取り組みと人材確保戦略を構築すること

CHECK!

2

議会豪雪災害対策支援本部を設置

～ 12月19日から20日にかけて豪雪となりました～



支援本部

豪雪により、交通障害や大規模な停電など甚大な被害が発生したため、12月19日から21日まで、柏崎市に災害救助法が適用されました。また、19日から24日まで市長を本部長とする豪雪災害対策本部が設置されたことに伴い、議会においても豪雪災害対策支援本部を設置して、情報収集など

対応に当たりました。

豪雪対応のため、20日に予定していた本会議（12月定例会議最終日）は22日に延期しました。



災害派遣された自衛隊（12月20日、市役所）



通行止めになった国道8号（12月20日、米山台）

CHECK!

3

豪雪被害と対応の状況を確認

～ 12月22日に全員協議会を開催しました～



録画映像

豪雪被害の状況と対応について説明を受けるため、12月22日の本会議終了後に、急きょ議会全員協議会を開催しました。被害状況や必要な対応について、議員から発言が相次ぎました。



市長の説明を聞く議員（議場）

2月

定例会議の予定



変更の場合はホームページでお知らせします。本会議は午前10時に開会します。

日	月	火	水	木	金	土
2/12	13	14	15	16 本会議 議案説明・質疑・付託	17 委員会・分科会 産業建設・文教厚生	18
19	20 委員会・分科会 総務	21 委員会 予算決算	22 本会議 委員長報告・採決 施政方針、議案説明	23 (天皇誕生日)	24	25
26	27	28	3/1 本会議 代表質問、質疑・付託	2 委員会・分科会 産業建設・文教厚生・総務 (議案補足説明)	3 委員協議会・作業部会 産業建設・文教厚生・総務 (論点整理)	4
5 委員会 予算決算	6	7 本会議 一般質問	8 本会議 一般質問	9 本会議 (一般質問・予備日)	10 委員会・分科会 産業建設	11
12 委員会・分科会 文教厚生	13	14 委員会・分科会 総務	15 委員会・分科会 産業建設	16 委員会・分科会 文教厚生	17 委員会・分科会 総務	18
19 (委員会・予備日)	20	21 (春分の日)	22 委員会 予算決算	23 本会議 委員長報告・採決	24	25

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本会議・委員会の傍聴をご遠慮いただく場合があります。本会議・委員会は、インターネット中継でご覧いただけます。録画映像と会議録も公開しています。



会議日程



会議録・中継・傍聴



■議会運営委員会の委員長などを変更しました

佐藤和典委員長の辞任に伴い、10月31日の議会運営委員会において、互選により上森茜議員が委員長に、若井恵子議員が副委員長に選任されました。また、同日の本会議において、佐藤和典議員に代わり相澤宗一議員が議会運営委員に選任されました。

編集後記

昨年はロシアによるウクライナ侵略の戦争で胸が締め付けられ、物価高による食料品などの値上げラッシュなど暗いことが多い中、本市では綾子舞が関係者の皆さまのご努力でユネスコ登録されるなど、明るいニュースもありました。まだまだコロナ禍ですが、本年

の干支の「ウサギ」のように、ピョンピョンと元気よく跳ねるような「飛躍の年」になるよう、希望あるまちづくりを目指し、議会も決意を新たに取組んでまいります。

議会広報広聴常任委員
樋口 良子

次回発行は5月5日
お楽しみに

柏崎市議会

🔍 検索

議会広報広聴常任委員会

委員長 三宮直人
副委員長 星野幸彦
委員
布施 学 重野正毅 田邊優香
白川正志 樋口良子 相澤宗一
若井恵子 阿部 基